



# 八雲

学校だより12月号

令和7年 11月 28日

目黒区立八雲小学校

## 関心の拡がりへ

校長 藤井良江

日本初開催となるデフリンピックが今週26日に閉幕しました。本校4年生が競技観戦の機会に恵まれ、100メートル競技、ハードル競技、砲丸投げ、走り高跳び等、各国選手の活躍をほぼ同時に見ることができました。競技場には、選手役3000人、スタッフやボランティアの方々など、約3000人参加されているとのことで、会場運営の工夫にも興味がさらに高まったようです。

他区市の小学生から高校生までも多く来場されており、皆で、拍手の手話やサインエールで、選手を応援しました。八雲は、駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場にとっても近いので、時間的にゆとりをもって、しかも、最前列で観戦できたことはありがたく、貴重な経験でした。

4年生は、アンコンシャスバイアスのない、共生社会の実現の意味でも、「福祉」学習を軸にしています。

この先、車椅子体験や盲導犬、点字についてなどについても、学びを深めます。最終的には、地域や保護者の方々とともに考えることができるような学習発表の場も予定しています。

生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、持続可能な社会の創り手を育成することは、学校教育の役割です。今後は、より多様性、包摂性を前提とした学習環境の整備に努め、子どもたちの成長を促していきたいと思います。

さて、今月は、展覧会があります。子どもたちの豊かな感性が感じられる作品が体育館いっぱいに広がります。

当日は、制作過程の風景もお知らせできるように、展示の工夫を考えています。是非、ご来校ください。



## 学校保健委員会の内容について

10月30日(木)に学校保健委員会を行いました。テーマは「メディア機器と健康」についてとし、学校医・学校歯科医・学校薬剤師、保護者、教職員が参加しました。

9月初旬保護者対象に実施した〈メディア機器利用状況調査〉は274件の回答がありました。ご協力ありがとうございました。質問の中で「使用ルールを家庭で決めていますか」は「ルールをは決めているが守れていない」が72%でした。

メディア機器を使用するときには、ルールに併せて環境調整をすることが大切です。

- ・正しい姿勢保持のために机や椅子は適切な高さを使用すること
- ・20～30分に1度は目を休めること
- ・寝る1時間前には画面を見ないようにする
- ・イヤホンの使用は、必要以上の音量(dB)により聴力低下につながるためノイズキャンセリング機能の使用が好ましい
- ・安静時に上下の歯は1～3mm離れていることが正常であるが、うつむき姿勢が持続すると歯の接触時間が長くなってしまふ

メディア機器は役立つ一方で、使用方法を誤ると健康や生活習慣に影響が出ることがあります。学校医の先生方のお話にもありましたが、視力や聴力は一度低下すると回復はみられません。子どもの健やかな成長のため、メディア機器との適切な向き合い方について、ご家庭でもお話しください。

## 自転車の安全な利用に向けて

近年、子どもが自転車に乗っている際の事故が被害、加害の両面で、全国的に増加傾向にあります。特に小学生は、交通ルールの理解や危険予測の力が未熟なため、思わぬ事故につながる可能性があります。

日常の場面での習慣づけには、ご家庭での声かけが欠かせませんが、学校でも、安全な乗り方や交通ルールについて指導を行っています。

「飛び出さない」「一時停止をする」「ヘルメットを着用する」など、基本的なルールを繰り返し確認し、実際の場面で見守るよう促しが必要です。

また、自転車の点検や整備も事故予防には重要です。ブレーキやライトの確認、サイズの合った自転車の使用など、安全に乗るための環境づくりにも今一度、ご確認ください。

## 生活目標「身の回りの整頓をしよう」

秋も深まり、子どもたちは日々の学習や行事に意欲的に取り組んでいます。教室では、机の中やロッカーの整理整頓に励む姿も見られ、「自分のことは自分で」「使ったものは元の場所へ戻す」といった基本的な生活習慣を大切にしています。

整理整頓は、単に物を片付けるだけでなく、「今、何が必要か」「どこに置けば使いやすいか」といった“考える力”や“見通しをもって行動する力”を育む大切な機会でもあります。また、整った環境は心の落ち着きにもつながります。

ご家庭でも、ランドセルの中身の確認や学用品の整理など、お子さんと一緒に取り組んでいただけると、学校での習慣につながり、より定着していきます。引き続き、ご協力をお願いします。

## よく考え学ぶ 心を育む遠足

### 3年生担任

11月6日(木)に、こどもの国へ遠足に行きました。集合時刻は通常より少し早い8時。リュックにお弁当と水筒、雨具をしっかりと入れて、いざ出発です。

当日は、校外へ出る活動ということで、学校の代表として道中立派に活動できるよう心構えもばっちりです。「長い時間乗る電車の中のマナーはどうしたらよいだろうか。」「席が空いていたら座る?座らない方が良い?」「話す声の大きさはどのくらい?」など事前学習では、学年みんなでじっくり話し合いました。

3年生として、何が正しいのか、どんな態度が学校の代表と言えるのかなど、この時期に考えて行動することはとても大切です。

さて、「こどもの国」では、グループに分かれ、先生方のいるポイントを回りながら、楽しく遊びました。「115mもあるローラー滑り台では、お尻が痛くなったよ!」「つり橋に行くまでに30分も迷っちゃった!」など、ポイントで待っていると私たちに、たくさんのエピソードを教えてくれた子どもたちです。地図と時計を持って、自分たちだけで広い園内を回るの、さぞかし大冒険だったことでしょう。

最後まで仲良く活動できたグループもあれば、途中で話し合いになったグループもあったようです。成功だけでなく、失敗や戸惑いからも多くを学んだ遠足になったことと思います。



4年生まで、残り4か月です。これからも約80人の子どもたちと、様々な経験をしながら心を育んでいきたいと思っています。

## 八雲小学校の様子



ゲストティーチャーから学んだことや自分で調べたことを発表した「八雲環境万博」



校庭でも安全に運動できるように工夫した体育「鉄棒」の授業



グループの友だちと協力して取り組む調理実習



いろいろな楽器にふれ、自ら工夫して様々な音色を奏でる音楽

保護者の皆様、地域の皆様、小学校生活充実のためのアンケートにご協力ありがとうございます。行事ごとの反省やアンケートの結果なども参考にしながら、次年度に向けて充実した学校生活を送るための教育課程を編成していきます。